

輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム

議会改革発祥の地、
北海道は今…



7月21日に鷹栖町にて議会活性化フォーラムが開催され、下川町議会から3名の議員が参加しました。

北海道の議会改革の現状について鷹栖町議会 大石隆議長、芽室町議会 梶沢幸治議長の講演をいただきました。

地方自治が専門の江藤俊昭教授（大正大学）土山希美枝教授（法政大学）によるコメントのあと参加者によるグループディスカッション、そしてお二人の教授による総括がありました。

グループ内では各自治体で議会改革を進めるうえでの問題点、障害について情報交換を行い、たいへん有意義な研修となりました。

議会広報研修会

いかにして
読者を増やすか？



8月20日に札幌市にて「読者に読まれる議会報の企画と編集」という議会広報研修会がありました。講師は一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏です。

議会報（議会だより）の課題は読者を増やすこと。そのために、情報量を減らす、質を向上させる等々の解説と実際の各自治体の議会だよりの例示、解説がありました。

これらの研修を活かし、さらに読みやすく、内容が伝わりやすい、議会だよりを目指します。

戸塚区議員団 カーボンオフセット授与

麦と梨を「とつかの森でつかまえて」

8月28日に下川町議会と、横浜市戸塚区の9名の議員（以下、戸塚区議員団）との間で、カーボン・オフセット証明書授与式と交流会がオンラインで行われました。

戸塚区議員団9名が排出するCO₂（一人当たり2トン、計18トン）を下川町の森が吸収する分と相殺するものです。

戸塚区と下川町は、平成23年に下川町、戸塚区川上地区、戸塚区役所の三者で、友好交流協定を締結し、ネーミングライツ（命名権）も利用し下川町有林の一部を「とつかの森」と名付けるなどの取り組みが行われています。

戸塚区議員団と下川町議会は「麦梨連盟」を設立、連携を深めています。今後、脱炭素、循環型社会を目指し大規模都市と農山村が協力しあっていくことを再確認しました。

